森林・林業総合情報誌

しまねの森林（もり）

NO. 4

平成18年７月号　通巻244号

CONTENTS

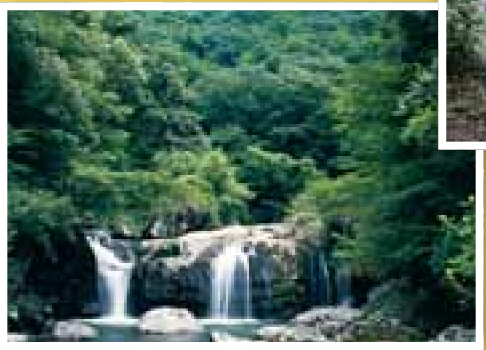
森林のたより	滞在型モデルハウス「石州燻煙（くんえん）木材の家」完成!! /林業課木材振興室	2
森林のトピックス	森林組合のやる気を応援します!! /林業課森林組合育成強化スタッフ	4
	山崩れから暮らしを守るために /森林整備課治山・林道グループ	5
ズームアップ	10年目を迎えた寧夏・島根友好林の植林活動 /林業課水と緑の森づくりスタッフ	6
しまねの自然	シリーズ④　ナツツバキ	7
自然で遊ぼう	シリーズ④　木の枝で昆虫をつくってみよう	7
森林のなかま	林業研究グループ④　三隅町林業研究グループ /西部農林振興センター浜田地域林業普及グループ	8
森林の研究	低コスト利用間伐に向けて /中山間地域研究センター森林保護育成グループ	9
インフォメーション	元気がでる！県民の森へ行こう!! /島根県県民の森	10
	『里山自然塾』に参加してみませんか？ /島根県立ふるさと森林公園	10
	2006『しまねの森林』フォトコンテスト	10
現地フラッシュ	林業普及リポート /林業課・隠岐支庁・各農林振興センター	12

みーもくん

森林はたくさんの生き物のすみかです。

森林は空気をきれいにします。

森林は心のふるさとです。



森林は私達が飲む水の源です。

森林は木材の供給源です。

島根県の恵み豊かな自然、
緑豊かな森林を撮ろう！！

2006『しまねの森林（もり）』フォトコンテスト

（スナップ写真大歓迎）

メインテーマは、四季を通じた「しまねの森林」です。

◆森林・林業（森林の四季を通じた景色や林業に携わる人々の風景など）
◆森とのふれあい（森林浴やイベントなどで森林と親しむ人々の風景など）
◆巨樹・古木（由緒ある巨樹や古木などの四季を通じた風景など）
◆島根の山（山々の四季を通じた風景など）
◆森のなかま（森林にすむ野鳥や昆虫など）
◆山の幸（きのこやたけのこなど山の幸やそれらの生産の風景など）

特選賞金　3万円
準特選賞金　2万円
入選・佳作　記念品

募集締め切り：平成18年9月10日

※応募規定などはP10をご覧下さい

しまねの森林（もり）
NO.4
平成18年7月号
通巻244号

森林のたより

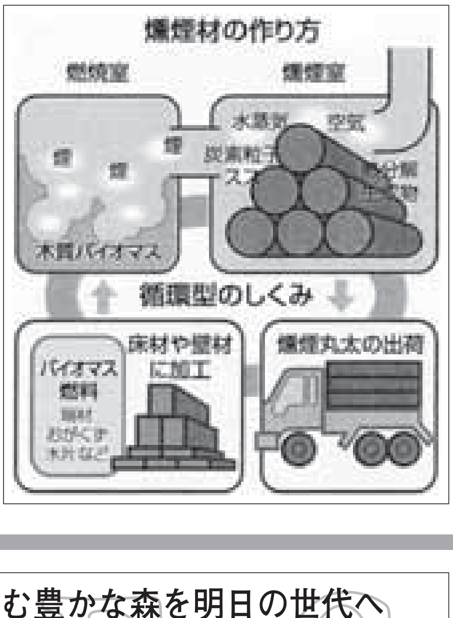
滞在型モデルハウス「石州燻煙（くんえん）木材の家」完成!!

～石見の四季を守り、地域の森林育成と地球環境に貢献する家づくり～

林業課　木材振興室

□県産材を販売加工する協同組合ヴァーテックスと地元工務店が協力して、主に県産スギ材を使った「石州燻煙（くんえん）木材の家」を浜田市竹迫町内に建築しました。ヴァーテックスでは、この住宅をモデルハウスとして1年間借り上げ、石州燻煙木材の販路拡大を図っていくこととしています。

□「燻煙材」とは、木を燃やしたときに出る煙でいぶした木材のことです。
□「燻煙材」の作り方は、右図のとおりです。



表紙の説明

2006「しまねの森林（もり）」フォトコンテスト開催中!!

「しまねの森林」発行委員会では、島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林をより多くの人々に理解していただくために、メインテーマを「しまねの森林」として、フォトコンテストを開催しています。夏休み中のハイキングや自然観察などのスナップ写真をお気軽にご応募下さい。
詳しくは、本誌10ページのインフォメーションをご覧下さい。

平成18年度島根県緑化ポスター原画コンクール募集中

㈳島根県緑化推進委員会と島根県では、県内の児童・生徒の緑化意識の高揚を図るために、「平成19年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」の県予選を兼ねて、平成18年度島根県緑化ポスター原画コンクールを実施しています。
提出は、各学校単位で平成18年9月8日㈮必着によりお願いします。
詳しくは、本誌11ページに広告を掲載している㈳島根県緑化推進委員会、または島根県農林水産部林業課水と緑の森づくりスタッフ（TEL 0852-22-5170）へお問い合わせ下さい。

未来を見つめ、人と自然と産業の豊かな調和をめざします。
農林中央金庫
松江支店
松江市殿町175　TEL(0852)21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ
― 制度資金のご融資を通じて
地元林業を応援します ―
農林漁業金融公庫
松江支店
〒690-0887 松江市殿町111番地（松江センチュリービル7F）
TEL：0852―26―1133　E-mail：matsue@afc.go.jp
FAX：0852―24―5334　HP：http://www.afc.go.jp

□スモークサーモンなどの燻製品（くんせいひん）が腐りにくいことは広く知られていますし、囲炉裏から出る煙で家中の木がいぶされていた古民家が丈夫で長持ちなことも皆さんご存じのことと思います。「燻煙材」は、一般の乾燥材と比べて収縮、割れ、ゆがみなどの狂いが小さく、防虫・防腐・防カビ効果や調湿効果も高いなどの特徴があります。

□モデルハウスでは、全体で24㎥の木材が使われており、そのうち18㎥が「燻煙材」です。

□県産材を使用した家具（島根県西部山村振興財団製作）や食器（森の器）も取りそろえています。

□滞在型モデルハウスですので、実際に宿泊して木の持つ自然感、安らぎ、温もりをじかに体験することができます。シックハウスやアトピーなどでお悩みの方には、貴重な体験になるのではないでしょうか。

□興味をお持ちの方は、ぜひ一度訪れてみてください。そして、見て、使って、泊まってみて「石州燻煙木材の家」の良さを感じてみてはいかがですか。

体験宿泊のできる期間：平成19年3月11日まで
休 業 日：お盆休み（8月12日～8月16日）・年末年始休み（12月29日～1月5日）
宿泊料金（お一人様料金）：大人（中学生以上）1000円／泊・子供（小学生以下）無料

□詳しくは、下記までお問い合わせください。

協同組合ヴァーテックス　浜田市金城町下来原1561-7　TEL 0855－42－3174

ゼロ災でいこう
林業・木材製造業
労働災害防止協会
島根県支部
〒690-0886 松江市母衣町55
林業会館3F
TEL 0852－21－3852
FAX 0852－26－7087

森林の緑を守り、緑を育てる
ー主要販売品目ー
◎林木苗畑（除草剤、殺虫、殺虫剤）
◎松くい虫防除薬剤（スミパインMC、林業用NCS）
◎林地除草剤（フレノック粒剤、ザイトロンフレノック微粒剤）
◎樹幹注入剤（ネマノーン、グリンガードエイト、マツガード）
山陽薬品株式会社 島根支店
〒690-0011　松江市東津田町1252
TEL（0852）23-3721㈹　FAX（0852）27-5322

森林組合のやる気を応援します!!
～森林ビジネスコラボレーション推進事業（新規事業）～

林業課 森林組合育成強化スタッフ

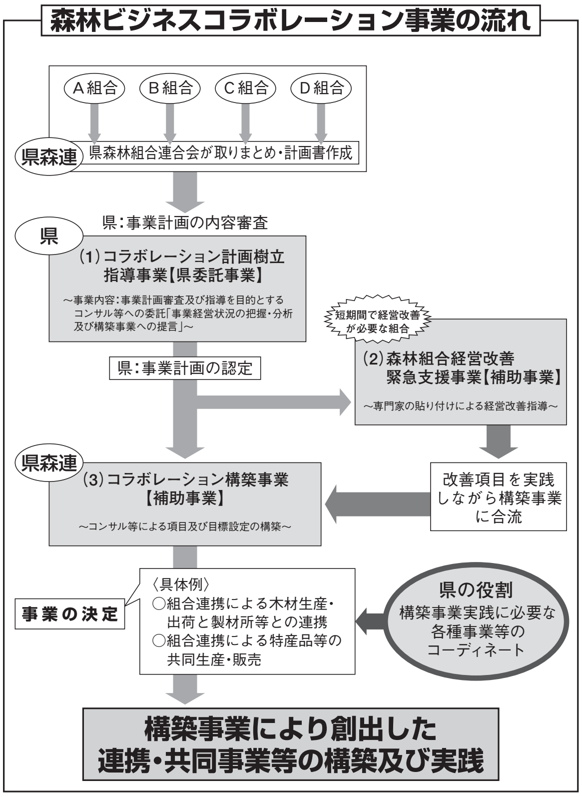
■森林ビジネスコラボレーション推進事業は、森林組合の経営基盤強化を目的として実施する島根県の平成18年度新規事業です。

■全国的に、国・都道府県・市町村等の公共事業が削減される中、補助事業などに依存している森林組合の経営は厳しい状況にあり、本県の森林組合も例外ではありません。

■森林組合員の山を守っていく上で、各森林組合は減少する公共事業に対応し、公共事業に頼らない独自の事業展開を実践して、その経営基盤の強化を図っていくことが必要となっています。

■この事業では、森林組合員のための本来の運営に加えて、各森林組合が企業的経営方針を取り入れて計画する「森林組合間」や「森林組合と異業種（企業等）」による共同事業の構築・実践までを、アドバイザーやコンサルタント業者などに委託して実施します。

■この事業は、以下の３つの事業で構成しています。



『事業の概要』

(1)コラボレーション計画樹立指導事業……………………………………………《事業主体：島根県》
県が、計画を提出した各森林組合の資源・施設・財務・経営状況等の分析をコンサルタント業者等に委託して行う事業

(2)森林組合経営改善緊急支援事業…………………………《事業主体：島根県森林組合連合会》
県森林組合連合会が、承認された各計画に基づき、コラボレーション構築事業を行う際、特に優先する森林組合について、事業年度を通じて集中的な経営改善指導をコンサルタント業者等に委託して行う事業

(3)コラボレーション構築事業………………………………《事業主体：島根県森林組合連合会》
県森林組合連合会が、認定された各計画に基づき、経営戦略等専門的知見を有するコンサルタント業者等に委託して共同事業の構築・実践を行う事業

お問い合わせ先：島根県 農林水産部 林業課 森林組合育成強化スタッフ TEL0852-22-5159

森林の中で働く人のお手伝いをします

1.林業労働者の募集
2.新規就労者及び雇用主に対する研修
3.林業就業促進資金の貸付
4.高性能林業機械の貸付
5.林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6.雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター（社団法人 島根県林業公社内）
松江市母衣町55番地4（松江商工会議所ビル6F）
TEL（0852）32-0253　FAX（0852）21-4375　E-Mail shimane-roukakuc@nifty.com

― 山崩れから暮らしを守るために ―

森林整備課 治山・林道グループ

■「災害は、忘れた頃にやって来る！」という言葉をご存じですか？タイのプーケット島で津波が街を呑み込んだショッキングな映像は記憶に新しいと思います。アメリカ各地で頻発する竜巻で、車や牛が空中に舞い上がる映画もありました。日本各地でも地震や台風で「裏山が崩れて家が壊れ、尊い人命が失われました。」という悲惨なニュースは度々ご覧になったでしょう。いずれも天然現象がもたらした災害（天災）で、その破壊力は想像を絶し、人間の力では止めることができません。

■実は、天災は他人事ではありません。昭和39年、47年、58年、63年、リターンピリオド（災害輪廻）と呼ばれ、島根県は何年かに一度、大雨災害に見舞われ続けました。

■島根県には、がけ崩れや土石流の恐れがある災害危険地区が２万箇所以上あります。これは北海道に次いで全国で２番目に多い数です。原因は地形が急（中国山地から日本海まで降った雨が一気に流れ出る）であることや、比較的災害に弱いとされる地質（特殊土壌地帯）であることなどがあげられます。

■災害に対して人間ができる防衛手段は、まず、①危ない箇所を見つけて、②防災工事をする。あらかじめ、③緊急連絡体制や避難場所を確認、徹底する。さらに、④大雨を予測して、災害が起こる前に直ちに避難する。そして、⑤被災地は復旧工事によって、二度と同じ被害を受けないようにすることです。

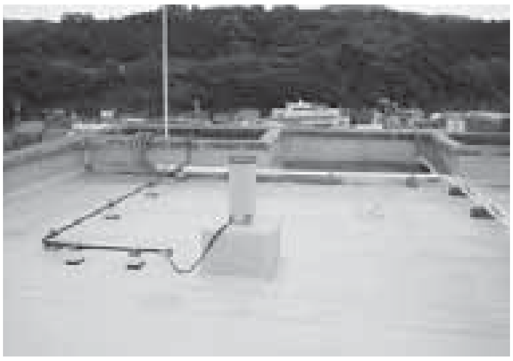
■治山事業では、集落や学校、老人ホームなど重要な建物や避難場所を守るための防災工事や、土石流の危険がある谷への治山ダム建設を計画的に進めています。一方で、災害の予知システム（ソフト）と防災工事（ハード）を組み合わせて災害を未然に防ぐ体制も整えています。

■具体的には、浜田市など過去に大災害を受けた県内12地域に、複数の観測局（雨量計）が設置してあります。そのデータを監視局（市役所）で集めて、大雨災害が予想される時には、いち早く、その情報を地域の人たちに伝えて早期の避難に役立てています。

■災害はいつ襲って来るかわかりません。尊い生命や貴重な財産は失われたら元に戻すことはできません。皆さんも、たまには家の周りを点検したり、大雨の時には天気予報に耳を傾けるなど、日頃から災害に対する準備と心構えをしておいてください。

集中豪雨による山崩れで一瞬のうちに倒壊した家屋

浜田監視局（市役所）



浜田観測局（雨量計）

社団法人　島根県森林土木協会

森林整備のアシスタント

① 森林土木事業の促進
② 森林土木技術の開発・普及
③ 森林土木事業の測量・調査・設計及び施行管理の受託
④ 保安林解除・林地開発許可等の設計（業務受託）

松江市母衣町55林業会館
TEL：(0852)21－2669
FAX：(0852)21－2231
E-mail：sima-sdk@axel.ocn.ne.jp

ズームアップ!!

10年目を迎えた
寧夏・島根友好林の植林活動

林業課　水と緑の森づくりスタッフ

島根県と中華人民共和国寧夏回族自治区とは、平成5年に農林業、経済、文化、医療、環境保全など様々な分野での交流と協力を行い両県区の繁栄を促進することを目的に友好協定を締結し、以来、研修生等の相互派遣や砂漠緑化協力、銀川市や石嘴山市との市町村交流、寧夏大学との交流、民間交流など、様々な交流を行ってきました。

砂漠緑化協力では、平成9年から毎年継続している「日中友好国際協力活動島根県民交流団」の植林活動が、今年でちょうど10回目となりました。今年は6月2日から6日までの日程で、植樹活動や文化交流が行われましたので、その活動の様子や10年間の歩みについて振り返ってみます。

植樹活動開会式

平成9年の第1回植林活動では、主に「島根県美容業環境衛生同業組合」の皆さんが創立40周年記念事業として参加し、各店舗でお客様にも募って集めた植樹募金を寧夏政府に寄付しています。この様な民間活動を受けて、寧夏政府より第2回目からは寧夏と島根県が半分ずつ費用を出し合って、友好林を造成していこうという提案がなされました。

そこで、島根県は平成10年度に「寧夏緑化国際協力事業」を創設し、毎年200万円（この内100万円は緑の募金公募事業を活用）を拠出して、平成18年度までの9年間で42haの友好林造成に取り組んだところです。この事業の10年間の成果について寧夏政府は非常に高く評価しており、植林会場に掲示してあった説明パネルには、「造成面積48ha、植栽本数9万本、参加者数は日本友人や各界の専門家など延べ3万3千人、総投資額260万元（約3900万円）、これは国家林業局や自治区政府がこの計画を高度重視し支持してきた結果である。県民交流団の植林活動の様子は、その都度、国内外のメディアで広く報道されており、今後も国を超えた環境保全活動としてモデル効果があると確信している。」と記されています。

友好林での植樹活動

今回は10周年記念として、坪田愛華ちゃんが描いた「地球の秘密（中国語版）」1万冊を持参し、訪問団が3班に分かれて銀川市内の小学校を訪問して贈呈しました。

この「寧夏緑化国際協力事業」の目的の1つには、砂漠地での植林体験を通して県民の環境保全や緑化意識の高揚につなげるねらいがあります。植林地まで車で約1時間半の道のりですが、そのほとんどが黄土高原地帯で年間降水量も300㎜以下で、草も生えていない状態を目の当たりにすると、緑の有り難さを実感します。この10年間に参加した延べ約9百人の県民の方々も同感だと思います。この思いを島根の森づくりにも役立てていきたいものです。

第1回目の植樹地（1997）

10年間継続した霊武市バイジータンでの植林事業はこれで完了し、後の保育管理は寧夏林業局が責任を持って継続していくことになっています。そして、次の植林候補地として銀川空港の隣接地を県民交流団事務局とともに見学したところです。これからも植樹した木々が年々大きくなっていくように、両県区の民間レベルの友好交流が更に発展していくことを望んでやみません。

しまねの自然 シリーズ ④

島根県内の森林には、多くの注目すべき植物が自生しています。
このシリーズでは、このうちの樹木を中心に紹介していきます。

■ ナツツバキ

（ツバキ科）

７月に入ると中国山地に自生するナツツバキが白い花を付け始めます。その名のごとく夏に花を付けるツバキですが、同じツバキ科の植物でも私たちが普段見なれているツバキ（ヤブツバキ）とは全くイメージが異なります。初夏に花をつけることや、花の色が白いこと、落葉樹であることなど、雪の舞う２月頃から赤い花をつける常緑のヤブツバキとは全く対照的です。

また、この花は早朝に花を開き、夕方には落ちてしまうという短命な花で、無常観の象徴として引用されることがあります。有名な平家物語の「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり、娑羅雙樹の花の色…」というくだりの娑羅雙樹は、このナツツバキのことです。お釈迦様は娑羅雙樹の大木の下で亡くなったといわれていますが、この樹木は熱帯に自生するフタバガキ科のサラノキのことで、わが国には自生していません。そのため、いつの頃からかわが国ではナツツバキやハクウンボクをサラノキと呼び、寺院などに植えてきました。

▲ナツツバキ

ナツツバキの肌はツルツルしており、島根県内では「さるすべり」と呼ばれることがあります。なお、百日紅とも呼ばれるサルスベリは、中国原産の造園樹木ですので、自然の山にはありません。

材は紅褐色で硬いことから、床柱や器具に用いられたり、良質の木炭の原料などに利用されました。

安来市にある清水寺の蓮乗院にあるナツツバキは有名ですが、自然のものとなれば八重滝や匹見峡などへ出掛けてみるとよいでしょう。

〔緑化センター管理スタッフ　佐藤仁志〕

木の枝で昆虫をつくってみよう

自然で遊ぼう シリーズ ④

夏には多くの昆虫が見られます。あなたも木の枝を上手に使って、昆虫を作ってみませんか。木の枝の他にノコギリ、剪定ばさみ、小刀、キリ、木工ボンドがあれば、すぐにでも挑戦できます。

〔緑化センター管理スタッフ　佐藤仁志〕

森林のなかま

しまねの森林・林業を担う林業研究グループ④

西部農林振興センター 浜田地域林業普及グループ

～山好きな人の集まり「三隅町林業研究グループ」～

■三隅町林業研究グループは、昭和62年４月に結成され、林業経営、造園業、製材業など森林・林業に関わる13名の会員により現在運営されています。

■三隅町林業研究グループの代表的な活動には、「三隅中学校緑の少年団」への活動支援があります。この活動は、平成13年度に当時の那賀郡三隅町内３中学校が統合され、新「三隅中学校」が発足したのを契機に、同中学校の裏山へ「ドングリ公園」を作ることを同グループが学校へ提案したことに始まります。以降現在まで、緑の少年団活動として行われているドングリの種まきやクヌギの植栽の指導を行っています。

■また、活動は植栽など当日の指導のみならず、裏山の地拵え、種まきのための用土や種子・苗木の確保などの準備作業や、植栽後の草刈り作業まで、全てグループ員が行っています。昨年度も、８月にドングリ公園の草刈り作業、３月にドングリの種まきの準備作業から当日の種まき指導などを行っています。

■平成14年には、グループのメンバーが開発した“煮沸間伐材”を活用した案内板を町内に作成・設置して、霊峰大麻山（たいまさん）（599ｍ）、全国棚田百選に認定された「室谷棚田（むろだにたなだ）」と、特産品「東平原（ひがしひらばら）柿園」の観光案内に一役買っています。

■そのほかに、廃校となった小学校を利用した「木工房きなり」での木工教室の開催、枝物の栽培指導や、松くい虫抵抗性マツの植栽・管理など、その活動は多岐にわたっています。

■地元の学校での森林教室の実施など、同グループは地域の森林・林業の振興に欠かせない存在となっています。

今後のさらなる活躍を期待します！

三隅町林業研究グループ連絡先：
浜田市三隅町三隅1434 浜田市三隅支所産業課内（尾崎晴行）
TEL0855-32-2803

株式会社 もちだ園芸

本　　社	出雲市渡橋町398	電話（0853）21-2051
		FAX（0853）21-5452
松江営業所	松江市東津田町1727	電話（0852）26-9713
米子営業所	米子市旗ケ崎2314	電話（0859）29-5748
石見支店	浜田市国分町212	電話（0855）28-2372
直営農場	出雲市所原町775	電話（0853）48-0267

植物油 生分解性オイル
YSバイオチェーンオイル
エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号
●全国をネットする総合潤滑油メーカー
ヤナセ製油株式会社
本社／06-6939-1251・米子営業所／0859-27-2933

「低コスト利用間伐に向けて」

中山間地域研究センター　農林技術部　森林保護育成グループ

■はじめに

「列状間伐」は、間伐が必要なスギやヒノキ林で一定の間隔で伐採する列を決め、その列に沿って間伐する方法です。伐採する列は、植栽列ごと、また一定の距離ごとに設定し、列幅は、木の生育状況や密度を考慮して決定します。各立木の形質にかかわらず列状に伐採するため、高性能林業機械を組み合わせた機械化作業に適した間伐方法であり、効率的に伐採・搬出できます。

列状に間伐された林分　隠岐の島町

■島根県の利用間伐の状況

平成17年度に県内16の林業事業体を中心に利用間伐の実態調査を行いました。これは森林組合等事業体が前年度に実施した利用間伐事業について、地況や林況、作業システム、搬出材積や収支などについて調査したものです。

全61事例のうち、列状間伐は18事例ありました。事業実施面積は0.60～16.00haと様々で、集材工程ではスイングヤーダやタワーヤーダの架線系のシステムを用い、全木もしくは全幹で集材を行っていました（表－1）。そして、この中で造材工程でプロセッサを使っている事例では、チェーンソーで造材するより生産性が高く、生産コストが約30％低くなっていることがわかりました。調査から高性能林業機械を利用した列状間伐が、間伐木を選木して各立木を個々に伐倒する定性間伐と比較して、労働生産性が高く、素材生産コストが低い傾向が明らかになりました。

表ー1　島根県の利用間伐の実態

区　分	生産コスト（千円/㎥）	労働生産性（㎥/人・日）	搬出材積（㎥/ha）
一般的な間伐	6～30	0.85～4.00	15～108
列　状　間　伐	8.7～22	1.00～4.50	17～123

※労働生産性とは1人役当たりの素材生産量。

■低コストで効率的な利用間伐の実現に向けて

低コストで効率的な利用間伐を進めていくために、列状間伐は有効といえそうです。しかし、その実施にあたって、作業システムや集材方法などを上手く組み合わせて実施していくことが作業効率を向上させるためには重要です。また、間伐対象林分の林況や林道・作業道等搬出路の整備状況等を把握しながら、利用のための列状間伐を進めていく必要があります。

路網の整備は不可欠　益田市美都町

中山間地域研究センターホームページ　http://www.chusankan.jp/

自然との調和

松くい虫防除薬剤
ヤシマスミパイン乳剤
ヤシマスミパインMC
マツグリーン液剤２

松くい虫駆除薬剤
バークサイドＦ
ヤシマ　ＮＣＳ

松くい虫予防薬剤
グリーンガード･エイト

瞬間殺蜂スプレー
ハチノックＬ・Ｓ

ヤシマ産業株式会社　広島営業所
〒732-0825 広島市南区金屋町2-14 6F（協友アグリ㈱内）
TEL ０８２－２６１－００５２

元気がでる！ 県民の森へ行こう!!

島根県県民の森
飯石郡飯南町小田

8月・9月・10月のイベントの御案内

《県民の森ふれあい講座》 申込先：県民の森研修館　TEL 0854（76）3119

◆8/5㈯・6㈰ 昆虫採集教室（定員20名）
◆9/23㈯ 初秋のきのこ狩り（定員50名）
◆9/24㈰ 琴引山トレッキング（定員20名）
◆10/1㈰ 間伐して丸太イスづくり（定員20名）
◆10/15㈰ 秋のきのこ狩り（定員50名）
◆10/28㈯ 紅葉の県民の森トレッキング（定員20名）
◆10/29㈯ 紅葉のブナ林トレッキング（定員20名）

その他にも**《県民の森オープン講座》**、**《森林スキルアップ研修》**などのイベント・研修を開催しています。詳しい情報はホームページをご覧下さい。 http://www.chusankan.jp/mori/

身近な自然に親しもう！触れ合おう！「里山自然塾」に参加してみませんか？

島根県立ふるさと森林公園
松江市宍道町佐々布

ふるさと森林公園を管理している島根県立緑化センターでは、公園内の自然を活用したイベントの一環として里山自然塾を年間12回開催しています。

8月・9月・10月・11月の講座の御案内

◆8/6㈰ 第5回講座「杉の皮で和紙づくりに挑戦しよう」
◆9/3㈰ 第6回講座「間伐材丸太で動物を作ろう」
◆10/1㈰ 第7回講座「里山の秋にキノコを探そう」
◆11/12㈰ 第8回講座「竹を色々使ってみよう」

◇参加料：無料　◇募集人数：20 ～ 25名（先着順、事前申し込みが必要です。）
◇申込方法：ふるさと森林公園森林学習展示館　TEL 0852（66）3586

島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を撮ろう！！ 2006『しまねの森林（もり）』フォトコンテスト

（森林・林業総合情報誌）

※ 募集締切・応募テーマ・表彰 は表紙参照

応募規定

◇お一人で何点でもご応募いただけます。ただし、応募作品は未発表のものに限ります。
◇肖像権侵害などの責任は負いかねます。応募に際しては必ず本人の承諾を得て下さい。
◇作品サイズは、キャビネ（2L）とします。
◇デジタルカメラの場合、合修正は不可です。
◇入賞作品の版権は、主催者に帰属します。原版、電子データ等の提出が必要です。
◇応募作品の中から、「しまねの森林」ほかの広報に使用する場合があります。
◇応募作品は原則として返却しません。ただし、送料（郵券）同封で応募のあった返却希望者には、審査終了後返却します。

応募方法

必要事項を記入した応募用紙を、作品の裏側にセロテープでとめてご応募下さい。

応募先

〒690-8501　島根県松江市殿町1番地　島根県庁林業課内
「しまねの森林」発行委員会事務局　TEL 0852-22-5158

審査発表

森林・林業総合情報誌「しまねの森林」の紙面に入選作品を掲載のうえ発表します。
※前期分は後期分にあわせて審査しますのでご了承下さい。

しまねの森林フォトコンテスト応募用紙

住　所	〒　　－
T E L	（　　　）
氏　名	（　　）才
職　業	
撮影場所	
撮影年月	
作品タイトル	

主催／「しまねの森林」発行委員会・島根県

優良種菌で
原木乾椎茸の
生産拡大を
生産から販売まで
椎茸のことなら何でもＪＡへ
JAグループ島根／JA全農しまね

安全・安心・美味しい
日本産原木しいたけ栽培を応援します
財団法人 日本きのこセンター
三次支所
広島県三次市畠敷町916-2
（三次地方卸売市場内）
TEL 0824-63-1226
FAX 0824-63-2012

育てよう　豊かな緑と　豊かな心

「緑の募金」にご協力を！

・「緑の募金」は、だれもが参加できる身近な森林ボランティアです。
・寄せられた募金は、自主的な森林整備、緑化推進、緑の少年団などの活動支援を通じて地域に還元されます。

平成17年度実績

●募金額　38,267,938円
●緑の募金公募事業等

森林整備事業	14団体	531万円
環境緑化事業	23団体	1,172万円
緑化普及事業	5団体	143万円
国際緑化協力事業	1団体	100万円
緑の少年団活動事業	78団体	564万円

(社)島根県緑化推進委員会
（特定公益増進法人）
松江市母衣町55　島根県林業会館内
TEL(0852)21-8049　FAX(0852)21-8231

自然災害から森林を守る ———

森林国営保険

対象となる災害：火災、気象災、噴火災

解説：マモルくん

『森林所有者の皆様ご存じですか？　森林国営保険は火災だけではなく、風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害そして噴火災による森林被害も損害の対象になります。』

『森林所有者の皆さ～ん。せっかく育てた木が災害にあって、つらい思いをしたことはありませんか。』

『そんなあなたを守ってくれる。森林国営保険は頼りになります。』

『詳しいことは左記の問い合わせ先へ』

お問い合わせ先
各森林組合・森林組合連合会
県庁森林整備課

サンケイ化学の松くい虫防除資材

多目的使用（空中散布・地上散布）が出来る
スミパイン®MC

新発売　散布用薬剤
モリエート®SC

伐倒木用くん蒸処理剤
キルパー®

伐倒木くん蒸用生分解シート
ビオフレックス®

松枯れ防止樹幹注入剤
グリンガード®・エイト

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤
マダラコール®

お問い合わせは　県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社　大阪営業所
大阪市淀川区西中島4-5-1　TEL 06(6305)5871

除草はおまかせ下さい！

非農耕地用除草剤
○デゾレート
AZ粉剤・AZ粒剤

クズ株処理剤
○クズコロン液剤
1株一ワンプッシュ　済的

日本カーリット株式会社
九州営業所
福岡市博多区博多駅前1-4-4
☎(092)473-6521
FAX(092)451-8195

有限会社野津善助商店
本　社　八束郡東出雲町大字錦浜583-10
☎(0852)53-0670(代)
FAX(0852)53-0674
E-mail:notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社

代表取締役社長　椎　名　宜　三

本　社　〒690-0001　島根県松江市東朝日町87番地6　☎(0852)21-6222(代)
営業所　松　江 ☎(0852)21-6223(代)　鳥　取 ☎(0857)24-4620(代)　益　田 ☎(0856)22-4824(代)
　　　　三　次 ☎(0824)64-0433　岡　山 ☎(0867)67-2345

現地フラッシュ

林業普及リポート

広域　第47回乾椎茸品評会表彰式

●日時：平成18年6月4日㈰
●場所：出雲市大社町菱根
島根ワイナリー

県庁林業課　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/

松江　八雲中学校・森林作業体験研修（下刈り）

●日時：平成18年6月28日㈬
●場所：松江市八雲町熊野
松江市市有林

東部農林振興センター　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/

雲南　岩熊の樹木を学ぼう！ 大東西小学校の樹木教室

●日時：平成18年6月8日㈭
●場所：雲南市大東町仁和寺
学校林「岩熊の森」

東部農林振興センター雲南事務所　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/

出雲　佐田中学校「緑の少年団」間伐実習

●日時：平成18年7月3日㈪
●場所：出雲市佐田町反辺
出雲市市行造林地

東部農林振興センター出雲事務所　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/

浜田　浜田四中と地域の融合活動「炭焼き体験学習」

●日時：平成18年6月21日㈬
●場所：浜田市内村町
「紅葉会」炭焼き窯

西部農林振興センター　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/

県央　新生「大田市森林組合」、間伐研修で発進!!

●日時：平成18年6月14日㈬
●場所：大田市大田町
スギ・ヒノキ造林地

西部農林振興センター県央事務所　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/

益田　匹見小学校で森林教室を開催！

●日時：平成18年6月15日㈭
●場所：益田市匹見町匹見
西中国山地国定公園
裏匹見峡

西部農林振興センター益田事務所　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/

隠岐　自然観察会＆水と緑記念森見学会

●日時：平成18年6月11日㈰
●場所：（自然観察会）
隠岐の島町布施
（水と緑記念の森）
隠岐の島町原田

隠岐支庁農林局　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/

島根県立農業大学校森林総合科程　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/

中山間地域研究センター　URL：http://blog.goo.ne.jp/f-chusankan/

しまねの森林（もり）
平成18年７月号
通巻244号
NO. 4

発　行：「しまねの森林」発行委員会
島根県森林組合連合会・島根県林業改良普及協会・島根県森林土木協会・島根県緑化推進委員会
島根県林業公社・島根県木材協会・島根県猟友会・緑資源機構松江水源林整備事務所
編　集：島根県農林水産部　林業課林政企画グループ
発行日：平成18年７月20日
ホームページアドレス：
林　業　課　http://www.pref.shimane.jp/section/yama/
森林整備課　http://www2.pref.shimane.jp/ringyou/